

地域人授業を実施しました。

11月11日（金）に1年生対象の「地域人授業」を実施しました。今年度は、宮津市日置でオーガニックレストラン Bio Rabbit を経営されているシェフの対馬則昭様を講師としてお迎えしました。

ご自身のこれまでの人生についてお話頂く中で、今の自分に必要なものは何なのか意識することの大切さを教えて頂きました。また、「食べること」は、大切な人とのコミュニケーションの場であるということを改めて気づかせて頂きました。

私たちの心に残り、のちのち思い出すことになるであろう講演でした。



生徒の感想から

○とても勉強になりました。失敗をして学んだことを踏まえれば、失敗していない人よりも、その後でいい結果を残すことができるという話を聞いて、私も失敗してもいいからいろいろなことにチャレンジしていきたいなと思いました。食べ物のお話もとても参考になりました。自分の体内に入れたものは、将来子供ができたとき、その子供にまでアレルギーなどの影響が出てしまうと知って、これからの食事について意識していきたいなと思いました。

○「食＝コミュニケーション」という発想がとても印象に残りました。自分の失敗談を私たちの将来のために話してくれ、もし失敗したり悩んだりしても、広い宇宙に立っている自分を想像するといいいというアドバイスもためになりました。それで悩みが消えるわけじゃないけど気持ちは楽になりそうだなと思いました。仕事に対して1年目は「させて下さい」なのに、慣れてくると「してあげている」という風に思う時が来ると話されたとき、私は内心ドキッとしたし、本当に初心は忘れてはいけないなと思いました。自分の夢に必要なモノ・コト5つを意識して、これからの夢に向かって頑張りたいです。

○今日のお話を聞いて、ものすごく心に染み入ることがたくさんありました。まず満足度100%のグラフで、私たち16才はまだ人生の4分の1にも満たしていないんだなって思いました。辛いことや苦しいこともあるけれど、今この年齢で100%に達しても人生面白くないなとも思いました。人生はこれからだなと思ひ、励まされたような感じがし、すごくいい機会でした。